

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和4年度事業点検・評価調書

4- I -7

4- I -7

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	案内標識の設置
節	I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業(施策)名	7 遺跡案内表示の整備、充実	関連団体	佐渡市観光振興課、佐渡市交通政策課
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 来訪者の円滑な移動に向けて、主に徒歩による遺跡への案内表示の充実を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係機関が連携して、遺跡案内板など案内表示の整備、充実を図る。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全体設置予定のサイン139基のうち、50%のサイン設置を完了する。(来訪者の現地受入体制を充実させることで、利便性が向上する。) ※50%については、史跡整備基本計画に基づき、R3～R6の計画で、設置場所の優先順位や設置数を算出 		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年3月に策定した「史跡佐渡金銀山遺跡整備基本計画」において、遺跡案内表示の整備に関する方針を定めた。 また、上記方針に基づき、解説・歩行者誘導・注意喚起等のサイン計画を定め、計画的なサイン設置を進めた。 		
事業計画と実績	<p>【R4年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 西三川砂金山(五社屋山地区)におけるサイン設置箇所・内容を検討する。 <p>【R4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 五社屋山地区のサイン設置予定箇所の検討を行った。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 構成資産が広範囲に分布し、設置予定箇所数も多いことから、計画的にサインを設置する必要がある。 ■ 国補助事業等の財源が確保できない場合、事業進捗に影響が出る。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 令和5年度に五社屋山地区にサイン21基を設置する。 		
事業評価	<p>【ゴールに対するR4末の達成度】 ◇ 概ね計画どおりに進んでいることからB評価とした。</p> <p>{ A・B・C }</p>		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。

